

気仙沼で組合冷蔵倉庫が8月完成、被災地最大級

Edited By LogisticsToday On 2015/06/01



三井住友建設が施工を手がける気仙沼鹿折加工協同組合(宮城県気仙沼市)発注の水産冷蔵関連施設で、8月の冷蔵倉庫完成に先立ち、組合事務所が完成した。

同協同組合は、東日本大震災で被災した気仙沼市の水産加工業者19社の共同事業で、水産関連への投資としては被災地で最大級。組合参加各社が結集することで個々の負担を軽減し、競争力を強化を図っている。

今後、完成を迎える冷蔵倉庫や海水処理施設は、共同で利用する以外に気仙沼ブランドの水産加工品のPR、商談の場として使用される。冷蔵倉庫はS造平屋、一部2階建てで延床面積4235平方メートル。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/165891>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.